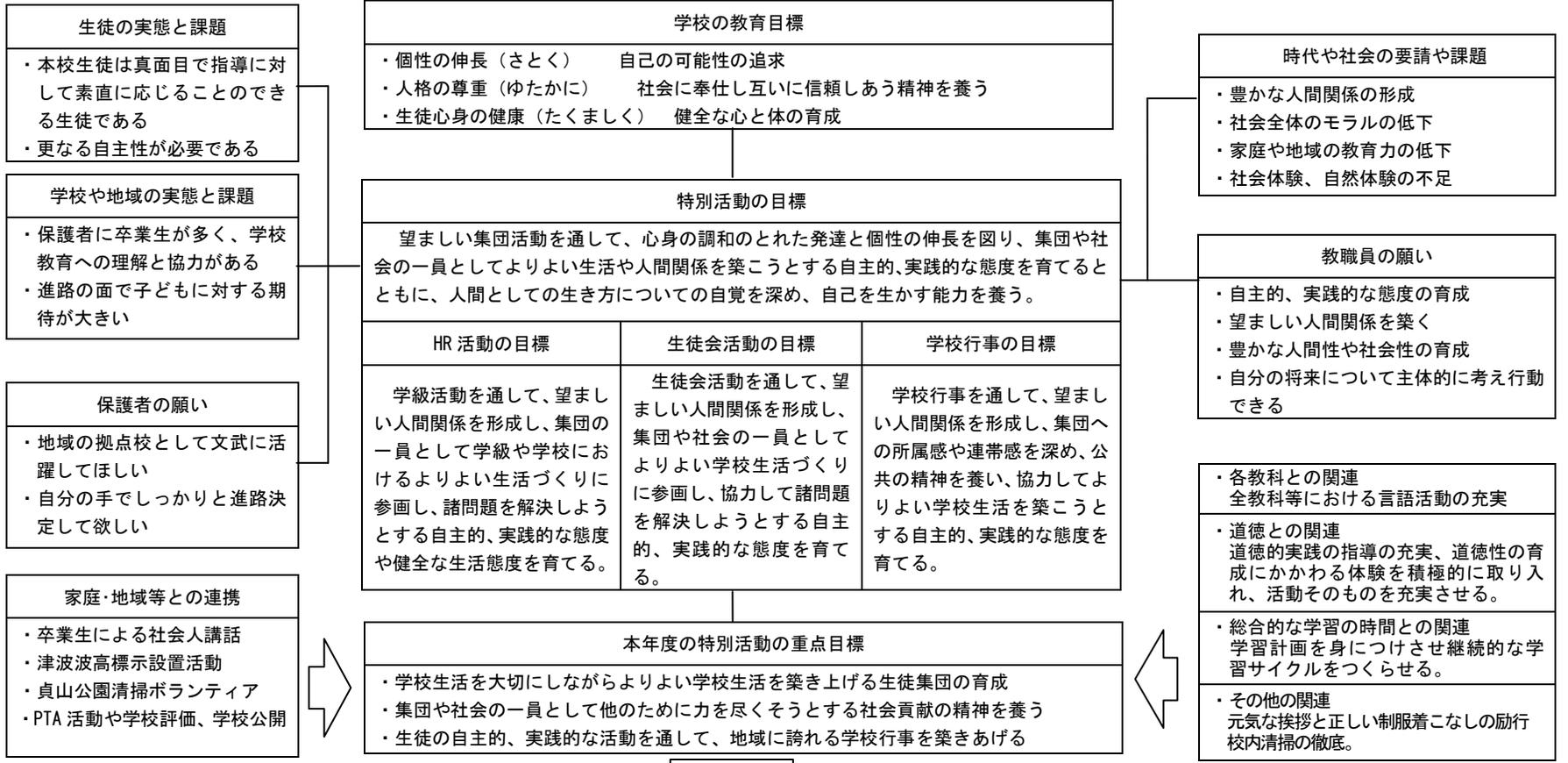


平成 28 年度 多賀城高校特別活動全体計画



各学年の指導の重点		
第1学年 集団活動を通して、学校生活に適応し、協力して物事に取り組む喜びを味わわせながら自己理解を深めさせ、積極的に活動できる意欲を育む。	第2学年 集団活動の意義を十分に理解し、社会貢献の精神をもって活動する。また様々な活動のなかで他者の価値観や個性を理解し、他者を尊重する姿勢を育む。	第3学年 集団活動を通して、自己の能力を発揮し、学級や学校、地域に貢献しながら、自己実現のための進路を切り開くことができるようにする。

	HR 活動	生徒会活動	学校行事																				
重点目標	1 望ましい人間関係づくりを通して、よりよい学級生活を築きあげようとする意欲を高める 2 話し合い活動を通して、望ましい集団決定や自己決定をし、実践に取り組む態度を育てる 3 人間としての生き方についての自覚を深め、自己を活かす能力を養う	1 よりよい学校生活づくりを通して、自発的、自治的な能力を高める 2 ボランティア活動等の社会参加を通して、社会貢献の精神を育む 3 全校生徒が生徒会会員としての自覚を持ち、よりよい校風づくりに尽力できる態度を養う	1 伝統的な行事に積極的に参加し、自治的な活動を体験することにより自己を活かす能力を養う。 2 学年の枠を超えた行事に積極的に取り組みながら、他者と協力するなどして課題解決方法を学び、集団への所属感や連帯感を深める																				
活動の内容	(1) 学級や学校の生活づくり 学級開き 制服着こなしセミナー 年間 LHR 計画作成 大掃除 (2) 文化的行事及び健康安全 文化祭準備 クラス T シャツ作成 修学旅行事前指導 (3) 学業と進路 進路希望調査 進路講話 先輩の話を聞く会	(1) 生徒会の計画や運営 スローガン作成(スマホ使用について) 年間計画作成 (2) 学校行事の企画運営 壮行式 交通安全指導 生徒会役員選挙 生徒会総会 挨拶運動 立ち番指導 (3) 各種委員会活動 広報委員会 保健委員会 防災委員会 図書委員会 風紀委員会 (4) ボランティア活動などの社会参加 津波波高標示設置活動 貞山公園清掃ボランティア ボランティア活動の単位化	(1) 儀式的行事 始業式、入学式、終業式、卒業式、終了式、離任式 (2) 文化的行事 対面式、部活動紹介、文化祭、芸術鑑賞会 (3) 健康安全・体育的行事 薬物乱用防止教室、交通安全講和、身体測定、健康診断、避難訓練、体育祭、球技大会、防災講話(SPP)、ネット被害防止教室 (4) 旅行・集団宿泊的行事 校外活動、修学旅行 (5) 勤労生産・奉仕的行事 奉仕作業 資源回収、ボランティア活動																				
本校の特色	・教育目標に基づく志教育の実践 ・総合的な学習の時間を活用しての3年間を見通した進路指導 ・人間関係づくりをねらいとするディベート等の適切な時間での取り組み	・東日本大震災の教訓を伝える活動、震災に関係するボランティア活動・ワークショップ等への積極的な参加 ・各委員会の活動を活性化し、生徒会活動の充実を図る取り組み ・学校間交流	・特別委員会による三大行事(体育祭、球技大会、文化祭) ・プロの演奏家や著名人を招いての芸術鑑賞会 ・PTA との連携による各種行事 ・ESD の観点からの防災教育																				
時間・組織	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容(1)</th> <th>内容(2)(3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>4時間</td> <td>13時間</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>4時間</td> <td>13時間</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>3時間</td> <td>12時間</td> </tr> </tbody> </table>		内容(1)	内容(2)(3)	1年	4時間	13時間	2年	4時間	13時間	3年	3時間	12時間	・生徒総会は年2回、生徒評議会、各種の委員会は適宜開催する ・生徒会役員会は、生徒評議会、各種の委員会の定例会と同日開催のほか適宜開催する ・指導は全教師が行う	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>16時間</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>15時間</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>8時間</td> </tr> </tbody> </table> ・全校行事の指導者は全教師が協力して計画実施 ・学年行事は、該当学年の教師が中心となる	年	時間	1年	16時間	2年	15時間	3年	8時間
	内容(1)	内容(2)(3)																					
1年	4時間	13時間																					
2年	4時間	13時間																					
3年	3時間	12時間																					
年	時間																						
1年	16時間																						
2年	15時間																						
3年	8時間																						
評価と改善	学級活動(1)～(3)、生徒会活動、学校行事(1)～(5)を内容のまとまりとして「集団活動や生活への関心・意欲・態度」「集団や社会の一員としての思考・判断・実践」「集団活動や生活についての知識・理解」の三つの評価の観点を設け、それらごとに評価規準を作成して評価する。																						
	・事前から事後の活動までの過程で、生徒の変容を促す手だてを講じる。集団決定や自己決定をした内容の実践の成果と課題を自己評価や相互評価、教師による観察等で評価し、よりよい実践につなげる	・適宜、生徒会役員会や各種の委員会が、全校生徒を対象にアンケート調査を行い、活動の見直しと改善を図る ・評価結果を分析し、次なる取り組みに活かす	・事後の感想文や発表会で活動の成果と課題を生徒が相互評価する ・担当者が教師対象に企画から事後の事務処理に至るまでのアンケート調査を行い、結果を分析し、次なる取り組みに活かす																				
	学年末、年度末の学校評価の評価項目に、特別活動の重点目標、各学年の指導の重点について記載し、全教師、保護者対象のアンケート調査を行い、評価結果を分析し、次なる取り組みに活かす。																						